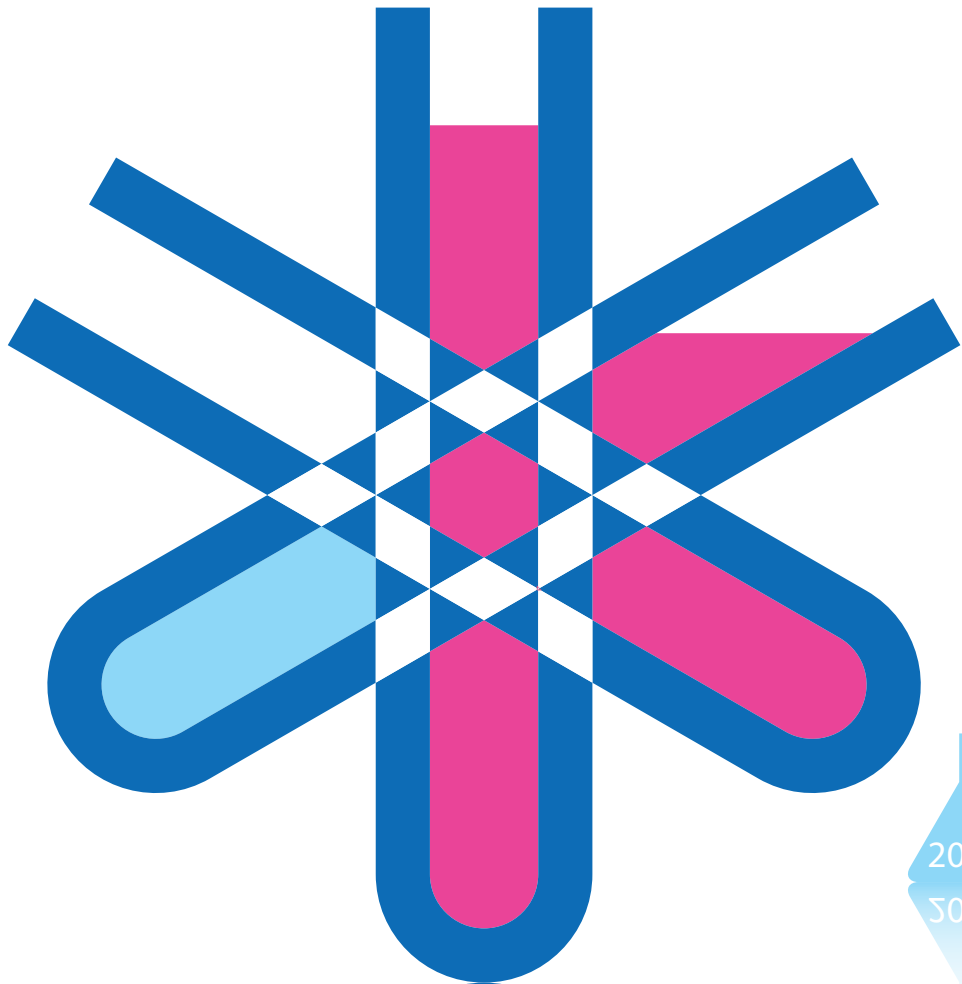


# 横查情報月報



横浜市衛生研究所

# 令和元年9月号 目次

## 【検査結果】

食品中の動物用医薬品検査結果(令和元年7月) .....	1
海水浴場水質調査結果(令和元年度) .....	2

## 【感染症発生動向調査】

横浜市感染症発生動向調査報告 8月 .....	4
-------------------------	---

## 【情報提供】

衛生研究所WEBページ情報 .....	9
---------------------	---

# 食品中の動物用医薬品検査結果(令和元年7月)

当所では、食品中の動物用医薬品検査を行っています。今回は、令和元年7月に健康福祉局食品専門監視班が収去した食品の検査結果を報告します。市内流通品の魚介類等10検体(さけ目魚類(ギンザケ3検体、サーモン2検体)、すずき目魚類(ブリ1検体)、甲殻類(エビ2検体)、魚介類加工品(ウナギ蒲焼2検体))について検査を行った結果、全ての項目で不検出でした(表1)。

表1 魚介類中の動物用医薬品の検査項目、検査結果及び検出限界

検査項目	検査結果				検出限界
	さけ目 (5検体)	すずき目 (1検体)	甲殻類 (2検体)	加工品 (2検体)	
<b>【合成抗菌薬】</b>					
マラカイトグリーン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.002
ロイコマラカイトグリーン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.002
ニトロフラントイン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.001
フラゾリドン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.001
フラルタドン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.001
エンロフロキサシン (シプロフロキサシンとの和)	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
オキシリニック酸	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
オフロキサシン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
オルビフロキサシン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
オルメトプリム	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
クロピドール	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
サラフロキサシン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
ジフロキサシン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
スルファキノキサリン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
スルファジアジン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
スルファジミジン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
スルファジメトキシシ	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
スルファドキシシ	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
スルファペリジン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
スルファメキサゾール	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
スルファメキシピリダジン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
スルファメラジン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
スルファモノメトキシシ	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
ダノフロキサシン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
チアンフェニコール	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
トリメトプリム	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
ナリジクス酸	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
ノルフロキサシン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
ピロミド酸	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
フルメキン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
マルボフロキサシン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
<b>【抗生物質】</b>					
オキシテトラサイクリン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.02
クロルテトラサイクリン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.03
テトラサイクリン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.02
クロラムフェニコール	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.0005

単位:ppm N.D.:不検出

【理化学検査研究課 微量汚染物担当】

# 海水浴場水質調査結果(令和元年度)

金沢区の「海の公園」は、市民に親しまれている横浜市で唯一の海水浴場です。5月および7月に環境省からの通知に基づく水質調査を行った結果を紹介します。



## 1 対象施設および試料

(1) 対象施設: 「海の公園」海水浴場

(2) 採水日: 令和元年5月7日・8日および7月1日・2日

(3) 試料: 「海の公園」沖3地点で、1日に2回(午前・午後)採水した海水。4日間で計24試料。

なお、採水は金沢福祉保健センターが環境創造局および公益財団法人横浜市緑の協会の協力を得て行いました。

## 2 検査項目

水質評価項目および参考検査項目を表1に示しました。

表1 検査項目

検査担当	水質評価項目	参考検査項目
福祉保健センター	油膜の有無、透明度	水温、気温、透視度、臭気等
衛生研究所	ふん便性大腸菌群数	腸管出血性大腸菌O157
	化学的酸素要求量(COD)	一般細菌数、pH

## 3 検査方法

平成31年3月29日付け環水大水発第1903292号(環境省水・大気環境局水環境課長通知)「平成31年度水浴に供される公共用水域の水質調査結果の報告について」に基づいて行いました。

## 4 検査結果と判定区分

水質評価項目と参考検査項目の水質検査結果は表2のとおりでした。5月7日・8日の12試料の検査結果及び7月1日・2日の12試料の検査結果を用い、環境省通知で定められた方法で報告値を算出しました。その報告値を水浴場水質判定基準(表3)によって「適(水質AA、水質A)」、「可(水質B、水質C)」、「不適」の5段階に区分しました。

令和元年度は、透明度については5月および7月ともに「適(水質A)」の基準を満たしていました。油膜およびふん便性大腸菌群数の2項目については、「適(水質A)」の基準を満たしていたのは5月のみでした。油膜については、7月1日は「認められない」でしたが、2日午前には「常時認められる」となり、2日午後には「認められない」に変わりました。ふん便性大腸菌群数については、7月1日は130個~200個/100mLを示した地点がありましたが、2日はいずれも100個/100mL以下となり「適(水質A)」の基準である100個/100mL以下を満たしました。化学的酸素要求量(COD)については、5月8日に最低値2.0mg/Lを示しましたが、5月の平均値は2.5mg/L、7月の平均値は4.4mg/Lとなり5月と比べて7月は高く推移しました。CODは5月および7月ともに「適(水質A)」の基準である「2mg/L以下」を満たしていませんでした。

令和元年度の判定区分は5月および7月ともに「可(水質B)」となりました。なお、昨年度も5月および7月ともに「可(水質B)」でした。

表2 令和元年度「海の公園」海水浴場の水質検査結果

検査項目	5月		7月	
	7日	8日	1日	2日
油膜の有無	無 <sup>*1</sup>	無 <sup>*1</sup>	無 <sup>*1</sup>	午前:有 <sup>*2</sup> 午後:無 <sup>*1</sup>
透明度(m)	1.0以上	1.0以上	1.0以上	1.0以上
ふん便性大腸菌群数(個/100mL)	2未満～8	2未満～2	50～200	60～100
COD(mg/L)	2.5～3.4	2.0～2.6	3.3～4.1	3.9～5.9
腸管出血性大腸菌O157(/3,000mL)	不検出	—	不検出	—
一般細菌数(cfu/mL) <sup>§</sup>	9～61	1～10	20～300	6～44
pH	8.1～8.3	8.3～8.6	8.1～8.3	8.3～8.5

\*1:「認められない」、\*2:「常時認められる」、§:参考のため検査しており水質基準はありません

表3 令和元年度「海の公園」海水浴場の環境省への報告値および水浴場水質判定基準

検査項目	環境省への報告値		水浴場水質判定基準				
	5月 (海水浴場開設前)	7月 (開設中)	適 水質AA	適 水質A	可 水質B	可 水質C	不適
水質判定区分	可 水質B	可 水質B	適 水質AA	適 水質A	可 水質B	可 水質C	不適
油膜の有無 最小～最大(平均)	無 <sup>*1</sup>	無 <sup>*1</sup> ～有 <sup>*2</sup> (無 <sup>*3</sup> )	無 <sup>*1</sup>	無 <sup>*1</sup>	無 <sup>*3</sup>	無 <sup>*3</sup>	有 <sup>*2</sup>
透明度(m) 最小～最大(平均)	1.0以上～1.0以上 (1.0以上)	1.0以上～1.0以上 (1.0以上)	1.0以上	1.0以上	0.5以上 1.0未満	0.5以上 1.0未満	0.5未満
ふん便性大腸菌群数 (個/100mL) 最小～最大(平均)	2未満～8 (2未満)	50～200 (97)	2未満	100以下	400以下	1,000 以下	1,000超
化学的酸素要求量 COD (mg/L) 最小～最大(平均)	2.0～3.4 (2.5)	3.3～5.9 (4.4)	2以下	2以下	5以下	8以下	8超
腸管出血性大腸菌 O157 (/3,000mL)	不検出	不検出	—	—	—	—	—
pH 最小～最大	8.1～8.6	8.1～8.5	—	—	—	—	—

\*1:「認められない」、\*2:「常時認められる」、\*3:「常時は認められない」

(注) 判定については、水質評価する4項目(油膜の有無、透明度、ふん便性大腸菌群数、化学的酸素要求量)を用います。全ての項目が「適(水質AA)」の基準を満たす水浴場の判定は「適(水質AA)」となります。ただし、一つでも満たさない項目があると、その項目の基準を満たす区分が水浴場の判定となります。いずれかの項目が「不適」である水浴場を「不適」とします。

【 理化学検査研究課 環境化学担当、微生物検査研究課 細菌担当 】

# 横浜市感染症発生動向調査報告 8月

## 《今月のトピックス》

- 腸管出血性大腸菌感染症が多く報告されています。
- 風しんの報告数が多い状態が続いています。
- RSウイルス感染症の報告数が多い状態が続いています。
- 手足口病の流行警報が発令されています。

### ◇ 全数把握の対象

#### 〈8月期に報告された全数把握疾患〉

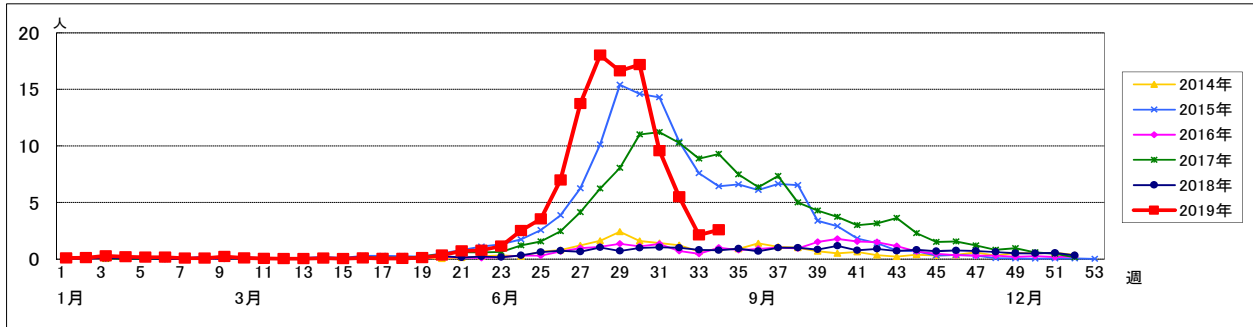
腸管出血性大腸菌感染症	14件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む)	4件
腸チフス	1件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
E型肝炎	2件	侵襲性肺炎球菌感染症	3件
デング熱	1件	水痘(入院例に限る)	1件
レジオネラ症	6件	梅毒	10件
アメーバ赤痢	4件	播種性クリプトコックス症	1件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	7件	百日咳	14件
クロイツフェルト・ヤコブ病	2件	風しん	4件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件	-	-

- 1 腸管出血性大腸菌感染症: O157が10件、O103が1件、O111が1件、O121が1件(無症状病原体保有者)、O不明が1件(無症状病原体保有者)ありました。
- 2 腸チフス: シンガポールでの経口感染と推定される報告が1件ありました。
- 3 E型肝炎: 経口感染と推定される報告が1件、感染経路不明の報告が1件ありました。
- 4 デング熱: フィリピンからの感染と推定される報告が1件ありました。
- 5 レジオネラ症: 肺炎型5件、無症状病原体保有者1件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 6 アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症の報告が3件、腸管外アメーバ症の報告が1件ありました。感染経路は国内での性的接触が2件(異性間1件、詳細不明1件)、経口感染(推定)が1件、不明が1件でした。
- 7 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 7件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 8 クロイツフェルト・ヤコブ病: 古典型CJDの報告が2件ありました。
- 9 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: G群の報告が1件ありました。
- 10 後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む): AIDSが2件、無症状病原体保有者が1件、その他が1件で、男性3件、女性1件でした。感染経路は、国内の性的接触が2件(同性間1件、異性間1件)、母子感染が1件、不明が1件でした。
- 11 侵襲性インフルエンザ菌感染症: 80歳代の報告が1件ありました。
- 12 水痘(入院例に限る): 30歳代の臨床診断例の報告が1件(ワクチン接種不明)ありました。
- 13 侵襲性肺炎球菌感染症: 80歳以上の報告が3件(ワクチン接種なし2件、不明1件)ありました。
- 14 梅毒: 10件の報告(無症状病原体保有者6件、早期顕症梅毒Ⅰ期2件、早期顕症梅毒Ⅱ期1件、晩期顕症梅毒1件)がありました。感染地域は国内7件、不明3件で、感染経路は性的接触が8件(異性間5件、同性間1件、詳細不明2件)、不明2件でした。性別は男性7件、女性3件でした。
- 15 播種性クリプトコックス症: 80歳代の感染経路不明の報告が1件ありました。
- 16 百日咳: 10歳未満が5件(ワクチン接種あり3件、不明2件)、10歳代が1件(ワクチン接種あり)、20歳代が2件(いずれもワクチン接種不明)、30歳代が1件(ワクチン接種不明)、40歳代が3件(いずれもワクチン接種不明)、60歳代が1件(ワクチン接種なし)、70歳代が1件(ワクチン接種不明)の報告がありました。
- 17 風しん: 検査診断例4件が報告されています。20歳代1件(ワクチン接種不明、男性)、30歳代1件(ワクチン接種不明、女性)、40歳代2件(いずれもワクチン接種不明、男性)でした。

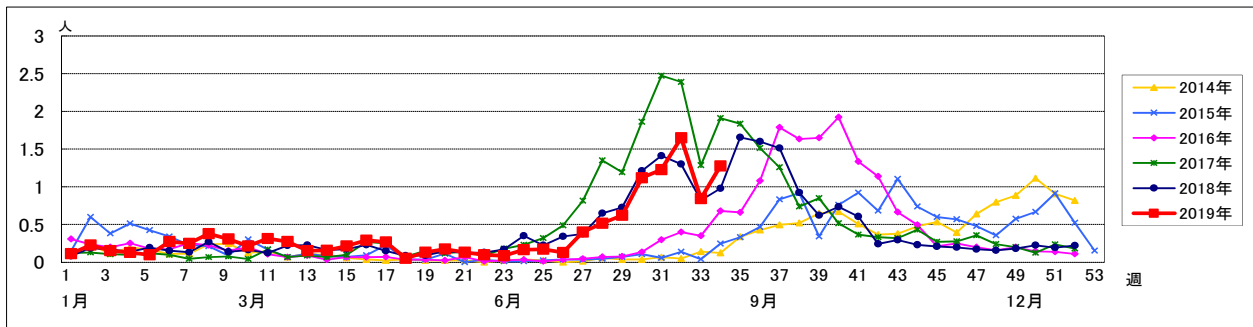
◇ 定点把握の対象

1 手足口病: 2019年は0.05から0.10で推移していましたが、第20週にて定点あたり0.35と増加を開始し、第26週にて6.98で流行警報発令基準値(5.00)を上回りました。第28週で18.01にて最大値となり、第34週は2.57となっています。今年も過去に流行した2017年、2015年の同時期を大きく上回って推移していましたが、第31週以降は下回って推移しています。流行警報は、依然として継続しています(警報解除基準: 2.00)。

報告週対応表	
第30週	7月22日～7月28日
第31週	7月29日～8月4日
第32週	8月5日～8月11日
第33週	8月12日～8月18日
第34週	8月19日～8月25日



2 RSウイルス感染症: 第27週にて定点あたり0.40と増加し、第32週で1.65にて最大値となり、第34週は1.28となっています。



3 性感染症(7月)

性器クラミジア感染症	男性:29件	女性:23件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:6件	女性:6件
尖圭コンジローマ	男性:9件	女性:1件	淋菌感染症	男性:17件	女性:2件

4 基幹定点週報

	第30週	第31週	第32週	第33週	第34週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.50	0.00	0.00	0.33	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(7月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

8月に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点28件、内科定点6件、基幹定点11件、眼科定点3件、定点外医療機関から搬入された検体は7件でした。

9月5日現在、ウイルス分離1株と各種ウイルス遺伝子23件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(8月)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	上 気 道 炎	下 気 道 炎	イン フル エン ザ *	咽 (ア デ ノ 感 染 症 含 む) 頭 結 膜 熱 *	R S ウ イ ル ス 感 染 症	へ ル パ ン ギ ー ナ
アデノ 3型				1		
アデノ 型未同定				1		
パラインフルエンザ 1型		1				
パラインフルエンザ 2型	1					
パラインフルエンザ 3型		1				
ヒトメタニューモ		1				
RS	2	4			8	
ヒトコロナ**	1					
ライノ			1			
コクサッキー A10型	1					1
合計	0 5	0 7	0 1	1 1	0 8	0 1

上段:ウイルス分離数/下段:遺伝子検出数

\*:疑い含む

\*\* :HCoV 229E or NL63、HCoV OC43

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】



## 〈細菌検査〉

8月の「菌株同定」依頼は、基幹定点から腸管出血性大腸菌4件、チフス菌1件、赤痢菌1件、大腸菌3件、サルモネラ属菌2件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌2件、腸管毒素原性大腸菌1件となっており、非定点からは、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌6件、非結核性抗酸菌3件の依頼がありました。

保健所からは、腸管出血性大腸菌11件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌6件、劇症型溶血性レンサ球菌1件の依頼がありました。

「分離同定」に関しては、基幹定点からリケッチア1件、非定点からボツリヌス毒素2件、保健所からレジオネラ8件の検査依頼がありました。

小児科定点からは、A群溶血性レンサ球菌1件の検査依頼がありました。

表 感染症発生動向調査における細菌検査結果(8月)

菌株同定	項目	検体数	血清型等
医療機関	腸管出血性大腸菌	4	O157:H7 VT1 VT2 (1)、O157:H- VT1 VT2 (1)、O111:H- (1)、O103:H2 VT1 (1)
	チフス菌	1	<i>Salmonella</i> Typhi (1)
	赤痢菌	1	<i>Shigella sonnei</i> (1)
	基幹定点 大腸菌	3	<i>Escherichia coli</i> O20 (1)、 <i>Escherichia coli</i> O153 (2)
	サルモネラ属菌	2	<i>Salmonella</i> Chester (1)、 <i>Salmonella</i> Stanley (1)
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	2	<i>Escherichia coli</i> (1)、 <i>Enterobacter cloacae</i> (1)
	腸管毒素原性大腸菌	1	<i>Escherichia coli</i> O169:H- ST (1)
非定点	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	6	<i>Klebsiella (Enterobacter) aerogenes</i> (1)、 <i>Enterobacter cloacae</i> (3)、 <i>Klebsiella oxytoca</i> (2)
	非結核性抗酸菌	3	<i>Mycobacterium abscessus</i> subsp. <i>massiliense</i> (2)、 <i>Mycobacterium abscessus</i> subsp. <i>abscessus</i> (1)
保健所	腸管出血性大腸菌	11	O157:H7 VT2 (4)、O157:H7 VT1 VT2 (1)、O157:H- VT1 VT2 (1)、O157 VT1 VT2 (1)、O157 VT2 (2)、O121:H19 VT2 (1)、Out VT1 VT2 (1)
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	6	<i>Klebsiella (Enterobacter) aerogenes</i> (2)、 <i>Enterobacter cloacae</i> (4)
	劇症型溶血性レンサ球菌	1	B群溶血性レンサ球菌 JM9 (1)

分離同定	項目	材料	検体数	同定、血清型等	
医療機関	定点	リケッチア (ツツガ虫病、紅斑熱群)	全血	1	不検出 (nested-PCR)
	非定点	ボツリヌス毒素	便・血清	2	不検出2件 (国立感染症研究所)
保健所	レジオネラ	喀痰	8	<i>Legionella pneumophila</i> SG1 (1)、 不検出 (7)	

小児科サーベイランス	項目	検体数	同定、血清型等
小児科定点	A群溶血性レンサ球菌	1	A群T型別不能 (1)

【 微生物検査研究課 細菌担当 】

# 衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所ホームページ(衛生研究所WEBページ)は、平成10年3月に開設され、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。

今回は、令和元年8月のアクセス件数、アクセス順位、電子メールによる問い合わせ、WEB追加・更新記事について報告します。

なお、アクセス件数については市民局広報課から提供されたデータを基に集計しました。平成31年3月26日より、新しいホームページへの移行に伴い、URLの変更が行われ、平成31年4月以降のアクセス件数は、新しいホームページでの集計となります。

## 1 利用状況

### (1) アクセス件数

令和元年8月の総アクセス数は、216,412件でした。前月に比べ約13%減少しました。主な内訳は、横浜市感染症情報センター\*167.2%、保健情報15.2%、検査情報月報5.1%、食品衛生2.7%、生活環境衛生2.5%、薬事1.7%でした。

\*1 横浜市では、衛生研究所感染症・疫学情報課内に横浜市感染症情報センターを設置しており、横浜市内における患者情報及び病原体情報を収集・分析し、これらを速やかに提供・公開しています。

### (2) アクセス順位

8月のアクセス順位(表1)を見ると、感染症に関する項目が、大半を占めています。

1位は、「大麻(マリファナ)について」、2位は、「手足口病について」、3位は、「横浜市感染症情報センタートップページ」でした。なお、1位から5位までは、先月と変わらない順位となっています。9位に「百日咳について」、10位に「リステリア症について」が入っています。

表1 令和元年8月 アクセス順位

順位	タイトル	件数
1	大麻(マリファナ)について	8,351
2	手足口病について	6,301
3	横浜市感染症情報センタートップページ	5,857
4	EBウイルスと伝染性単核症について	3,827
5	B群レンサ球菌(GBS)感染症について	3,663
6	トキソプラズマ症について	3,508
7	衛生研究所トップページ	3,381
8	電子パンフレット「疥癬(かいせん)ってなあに？」	2,807
9	百日咳について	2,753
10	リステリア症について	2,576

データ提供:市民局広報課

「大麻(マリファナ)について」に関連する情報

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/hokenjoho/wadai/marijuana.html>

「手足口病について」に関連する情報

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/kansen-center/shikkan/ta/handfoot2.html>

「横浜市感染症情報センタートップページ」に関連する情報

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/idsc.html>

### (3) 電子メールによる問い合わせ

令和元年8月の問い合わせは、4件でした(表2)。

表2 令和元年8月 電子メールによる問い合わせ

内容	件数
害虫について	1
浄水器について	1
トキソプラズマ感染症について	1
ジアルジア症について	1

## 2 追加・更新記事

令和元年8月に追加・更新した主な記事は、14件でした(表3)。

表3 令和元年8月 追加・更新記事

掲載月日	内容	備考
8月 2日	熱中症情報2019	更新
	オーストリアのこどもの定期予防接種について	更新
8月 3日	感染症に気をつけよう(8月号)	掲載
8月 5日	平成28年度協会けんぽ神奈川支部加入者の健診データ・業態別データ分析結果	掲載
8月 6日	全国熱中症患者救急搬送状況(2019年)	更新
	フランスのこどもの定期予防接種について	更新
8月 7日	横浜市における蚊媒介感染症のウイルス検査結果(速報版)	更新
	ラトビアのこどもの定期予防接種について	更新
	熱中症情報2019	更新
8月19日	全国熱中症患者救急搬送状況(2019年)	更新
8月20日	横浜市における蚊媒介感染症のウイルス検査結果(速報版)	更新
8月21日	全国熱中症患者救急搬送状況(2019年)	更新
	スイス・リヒテンシュタインのこどもの定期予防接種について	更新
8月22日	横浜市風しん流行情報23号	掲載
8月27日	全国熱中症患者救急搬送状況(2019年)	更新

【 感染症・疫学情報課 】